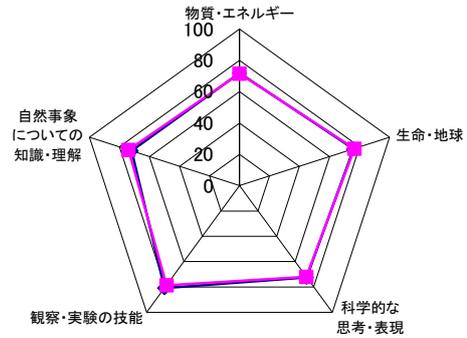


# 宇都宮市立富士見小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	71.9	71.6	67.4
	生命・地球	76.0	76.6	75.5
観点別	科学的な思考・表現	72.5	72.1	68.8
	観察・実験の技能	80.9	78.7	76.3
	自然事象についての知識・理解	71.9	73.9	71.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



● 本校      ● 市

## ★指導の工夫と改善

○ 良好な状況が見られるもの   ● 課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○「ふりこの実験操作の誤りを説明することができる」の正答率は66.1%で、市の正答率を3.7ポイント上回った。</p> <p>○「ミョウバンが水に溶ける量についてグラフから読み取ることができる」の正答率は70.6%で、市の正答率を6.5ポイント上回った。</p> <p>○「電磁石の性質を利用し、空きかんを集める道具を、空きかんをつり上げたり、はなしたりできるように修正することができる」の正答率は88.1%で、市の正答率を10.2ポイント上回った。</p> <p>○「酸素の捕獲法を指摘することができる」の正答率は98.2%で、市の正答率を10.2ポイント上回った。</p> <p>●「鉄やアルミニウムはうすい塩酸にとけることを理解しているのことができる」の正答率は45.0%で、市の正答率を15.9ポイント下回った。</p> <p>●「石灰水を白くにごらせる気体が二酸化炭素であることを理解している」の正答率は87.2%で、市の正答率を3.6ポイント下回った。</p>	<p>・水溶液の性質では、塩酸の性質を調べるときにうすい塩酸にアルミニウムや鉄を溶かした後で見えなくなった金属を確認する方法を他の水溶液でも比較しながら様々な視点から考えを類推する機会を設け、グループや学級全体で話し合うようにする。また、実験の結果から分かったことを自分の言葉で表現できるようにする。</p> <p>・酸素や二酸化炭素の性質を確かめる実験では、石灰水が白くにごることを人の呼吸や物の燃え方など何度も実験しながら、確かめるようにする。</p>
生命・地球	<p>○「だ液のはたらきを調べる実験の条件を修正できる」の正答率は55.0%で、市の正答率を2.4ポイント上回った。</p> <p>○「植物がとり入れた水のゆくえを実験によって確かめることができる」の正答率は95.4%で、市の正答率を3.2ポイント上回った。</p> <p>●「人の受精卵とうまれる子どものおよその大きさについて理解している」の正答率は66.1%で、市の正答率を8.4ポイント下回った。</p> <p>●「生き物どうしの食べる・食べられるの関係がわかる」の正答率は67.9%で、市の正答率を5.8ポイント下回った。</p> <p>●「月の形から、太陽がある方位と観察した時刻を指摘できる」の正答率は67.0%で、市の正答率を4.9ポイント下回った。</p>	<p>・人の誕生の学習では、メダカの受精卵と人の受精卵の大きさの違いを実物の模型を提示することで、視覚的にとらえることができるようにする。</p> <p>・生物どうしの食べる・食べられるの食物連鎖の関係を身近な生き物を例にして図や絵にしてグループで話し合い、理解を深めるようにする。</p> <p>・月と太陽に関する問題については、月の左右のどちら側に光が当たっているのかを考えさせ、校庭で月の動きの観察を定期的に行い、規則性に気付かせる。月齢カレンダーや新聞の記事なども活用するようにする。</p>